

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立東高根森林公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園グループ

施設所管課(事務所名) : 川崎治水事務所

(平成21年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月8日	5月26日	
5月	6月8日	6月18日	
6月	7月10日	12月7日	
7月	8月10日	12月7日	
8月	9月10日	12月7日	
9月	10月9日	12月7日	

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

多様なニーズに対応したイベント開催により賑わいの公園づくりを提案した。

<実施状況>

4月…森のコンサート、植物画教室、ピザ焼きなど8回のイベントを実施 参加者数計 489名
5月…ガーデニング講習会、田植え体験会など7回のイベントを実施 参加者数計 454名
6月…花の写真展、七夕飾りなど8回のイベントを実施 参加者数計 1,053名
7月…そば打ち体験会、エコ・アクション2009など7回のイベントを実施 参加者数計 1,948名
8月…健康体操体験会、工作体験会など2回のイベントを実施 参加者数計 989名
9月…藍の叩き染め体験会、自然観察会など8回のイベントを実施 参加者数計 418名

<提案内容の概要>

教育機関への様々な体験学習の場と機会の提供を提案した。

<実施状況>

6月に近隣の幼稚園と連携して七夕飾りを行った。
9月に長尾小学校6年生の体験学習として生徒を受け入れた。公園の管理作業に使用する機械工具の実習をメニューに取り入れたところ、公園での実作業を体験でき非常に充実していたという感想だった。

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	50,160	44,100	0	6,060	50,160	0
上半期計 (a)	24,266	20,237	0	4,029	20,516	3,750
4月	3,001	2,170	0	831	1,904	1,097
5月	3,755	2,945	0	810	3,361	394
6月	5,078	4,561	0	517	3,732	1,346
7月	3,664	3,103	0	561	4,163	△ 499
8月	4,067	3,699	0	368	3,156	911
9月	4,701	3,759	0	942	4,200	501
下半期計 (b)						
合計 (a+b)	24,266	20,237	0 (0)	4,029 (0)	20,516	3,750

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

平成21年度上半期の収支差額については、収入が1割以上のプラスとなった。
 収入は、駐車場収入が月ごとに多少の変動があるものの上半期の合計としてはほぼ計画どおりであった。
 支出が少なかった原因は、一般管理費の支出減があり、これは消耗品類の支出削減等に取り組んだ結果である。清掃管理費や修繕費の支出減も大きい。これは当初計画が各月均等に支出額を割り振ったものであったが、実態としては上半期の件数が少なかったために支出が減ったものである。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況	特になし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	183,508人	174,247人	5.3%
4月	35,482人	37,163人	△ 4.5%
5月	33,187人	37,709人	△ 12.0%
6月	32,941人	32,831人	0.3%
7月	28,795人	25,827人	11.5%
8月	24,313人	17,507人	38.9%
9月	28,790人	23,210人	24.0%
下半期計 (b)			
合計 (a+b)	183,508人	174,247人	5.3%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

前半は天候が優れない日が多く公園利用者数は伸びなかったが、後半は好天が続き前年度を上回った。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0	0	0	0	12	12
5月	0	1	0	0	12	13
6月	2	1	0	0	14	17
7月	2	2	0	0	11	15
8月	1	2	0	0	11	14
9月	0	0	0	0	17	17

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・越境枝の剪定を要望	迅速に対処し、感謝された
	・標識が不足しているとの苦情	川崎治水事務所にて標識の再整備を検討中
職員対応	・昼休み中のパンフレット自由持ち出しを要望	昼休み中の自由持ち出しはしない方針を継続
事業内容	・ソバ打ちイベントの増を要望	通年のイベントとする計画あり
	・詳細なパンフレット配布を要望	花や鳥などのリーフレット作製を検討
その他	・駐車場料金が高いとの苦情	料金体系の見直し予定はなし

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>4～6月は、来園者の足が伸びなかったが、各催し物には予定の参加者があり今後も来園者数の向上の一助としてがんばっていきたい。近隣の方からの伐採の要請は、迅速で丁寧な作業を行いお礼の言葉をいただいた。今後もできる限り速やかな対応を心掛けたい。</p> <p>7月、8月は晴天の日が多く、来園者数は多かった。8月10日と31日には台風が接近し、11日に震度4の地震があったが、事故や大きな異状はなかった。</p> <p>9月は長尾小学校6年生の体験学習として生徒を受け入れた。今後も地域貢献・教育機関への体験学習の場の提供を展開していきたい。</p>
施設所管課	<p>来園者数が天候に左右され前半は少なかったが、後半は持ち直し上半期については前年をやや上回った。</p> <p>日常的な管理は丁寧に実施され、アンケート結果を見ても全体的に満足度が高く、来園者からの評判がよい。</p> <p>体験学習の受け入れは地域との連携の取り組みとして評価できる。授乳室の設置やソバの種まきなどは新たな取り組みとして評価し、今後の経過を見守りたい。</p> <p>新たな指定管理期間の最初の年の上半期ということもあり、事業計画書記載の取り組みは準備段階のものが目立った。</p>